

# 社長メッセージ

フジテックは、研究・開発から販売、生産、据付、保守、リニューアルに至る一貫体制で、“安全・安心”な移動を実現する昇降機の専門メーカーです。

私たちはエレベータやエスカレータを、より快適に、より安全に、ご利用いただけるよう、さらなる品質・意匠と性能の向上を目指し、専門メーカーとして、お客様のニーズに応える柔軟な発想で、社会インフラの未来を切り拓いています。

代表取締役社長

内山 高一



## フジテック経営理念

フジテックは、人と技術と商品を大切にして、新しい時代にふさわしい、美しい都市機能を、世界の国々で、世界の人々とともに創ります。

## フジテックの提供価値

専門だから貫けるお客様優先主義。自由な発想で、お客様に最適な商品・サービスを、一貫体制で提供します

フジテックは、研究・開発から生産、据付、メンテナンス、保守の一貫体制を強みとする昇降機専門メーカーです。この一貫体制と専門メーカーであることが、お客様のご要望を把握し、独自の高い技術力に対応し、“安全・安心”にご利用いただける、品質の高い昇降機を長年提供することを可能にできました。

エレベータ・エスカレータは人々の暮らしに欠かせない社会インフラです。都市化と建物の高層化が進む中で、移動の最適化は、大きな社会的ニーズになっています。より多くの人を、より速く、より安全に移動させることはもちろんのこと、人にやさしい快適なエレベータ・エスカレータが世界中の都市で求められています。例えば、「ボタンに触れずに操作したい」、「混雑時の長い待ち時間を解消したい」といった昇降

機に対するお客様の声を、フジテックは技術力で柔軟に対応し、新しい価値を創造しています。

エレベータ・エスカレータのライフサイクルは、20年以上と長期に及びます。商品を納入することは、お客様との長年にわたる信頼関係の第一歩です。昇降機の保守は、利用者とおお客様の満足に直結します。専門メーカーだから提供できる高い品質の当社メンテナンスを通じて、長く安心して商品をご利用いただいています。

現在フジテックは世界23カ国と地域、国内120カ所以上に広がる拠点を通じて、それぞれの場所、建築物一つひとつに最も適した最高の品質のエレベータ・エスカレータと的確なソリューションを提供しています。

## 2020年3月期業績は、売上高・当期純利益ともに過去最高を更新、中期経営計画”Innovation, Quality & Speed”を初年度に達成

2020年3月期の業績は、売上高、当期純利益が過去最高となり、営業利益も中国の大幅増益で約30億円の増加となりました。

受注高は1,863億2千万円となり前期比で4.1%増加しました。国内受注はインバウンド向けのホテル需要が活発でしたが、前年の大型オフィス受注の反動があり、前期比2.8%減の723億2千5百万円となりました。海外受注は、東アジア、北米・欧州が増加し、前期比9%増の1,139億9千4百万円となりました。特に東アジアは中国で大幅に増加したほか、香港、台湾も好調で、海外受注高は為替の影響を除くと実質13%の増加でした。

売上高は1,812億3千2百万円となり、過去最高を更新しました。国内売上高は新設、保守、修理、モダンゼーションともに好調だったことから、前期比で5%増加し、725億1千9百万円となりました。海外売上高は東アジア、北米・欧州で増加し、前期比6.9%増の1,087億1千2百万円となりました。なお、海外売上高は為替の影響を除くと実質10.9%の増加です。

営業利益は133億7千5百万円となり、増収・増益となりました。日本は減益となりましたが、東アジア、南アジア、北米・欧州が増益となり、営業利益は前期比で約30億円の増加となりました。営業利益率は東アジアの利益の改善で

1.4ポイント上昇し7.4%でした。親会社株主に帰属する当期純利益は99億1千6百万円で過去最高となりました。

2019年4月から中期経営計画”Innovation, Quality & Speed”をスタートさせ、この3年間で、次の成長フェーズに向けベース固めを行い、筋肉質なフジテックとなるべく、2021年度の最終年度に売上高1,800億円、営業利益130億円を掲げていました。これらの経営目標は、東アジアにおいて現地の事業戦略を強化などした

ことから業績好調が大きく牽引して初年度にすべて達成しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大など、経営環境は不透明感を増していますが、社会インフラであるエレベータ・エスカレータの需要をとらえ、お客さまの期待に応えるために、収益力の向上をさらに進め環境の変化に対する対応力の強化と成長領域へ重点的に投資していく方針です。

## 新型コロナウイルス感染症による2021年3月期の業績への影響と変化への対応について

足元では世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞で厳しい事業環境が続いています。2021年3月期の業績予想は、現時点で想定できる範囲内でリスクを織り込んで策定しました。

地域別に見ると、中国では、春節後も2月は工場の稼働が停止し、インドでもロックダウンの影響で操業停止に追い込まれるなど、一時、生産活動に影響が出ました。一方で保守は、社会に必要なインフラ事業として、世界各国で活動の必要性が認知されており、事業を継続しています。

事業別では、新設・モダンゼーション工事の延伸や計画物件の手控え、企業の経費削減ニーズによる修理工事の延伸が想定されます。このような状況を踏まえ、2021年3月期連結業績予想は、売上高は2020年3月期に比べ、9%減の1,650億円、営業利益は20%減の107億円と減収減益を予想しています。セグメント別では、日本は増益となる予想です。

イノベーションにおいては、ITを駆使して生産性向上で収益力の向上を目指します。例えば、メンテナンスでは、Googleマップと社内システムおよび災害データなどを連携して、現

### 中期経営計画の進捗

	2021年度目標値	2019年度実績値
売上高	180,000 百万円	181,200 百万円
営業利益	13,000 百万円	13,375 百万円
営業利益率	7.2%	7.4%
ROE	8.0%以上	9.5%

場情報をリアルタイムにスマートフォンなどの端末でいつでも・どこでも閲覧できる地図システムを構築しています。現場目的地までの経路表示機能やストリートビューによる現地状況の把握による作業効率の向上に効果を上げています。災害時の初動対応の自動化にも対応し、平常時から災害時まで業務に欠かせないツールとして活用されています。

設計面ではBIM (Building Information Modeling)、すなわちコンピュータ上に現実と同じ建物の立体モデルを再現し、活用していく仕組みの活用を進めています。配管、部材などの大きさや長さといった細部を、立体モデルに

取り込む事ができるため、設計段階で不具合が確認できます。BIMの活用で設計時間短縮や、手戻り作業の減少がメリットとして見込まれます。

工場の自動化もさらに推し進めていきます。エレベータ工場のビッグウイング製作所、エスカレータ工場のビッグステップに自動生産機械の導入を進めており、工場での生産性向上と省人化を加速させていきます。またRPA (Robotic Process Automation) の導入も進め、事務作業などのルーティンワークを自動化し、より高付加価値の業務に人材をシフトさせ、生産性を高めていきます。



## ステークホルダーとともに持続的成長に向けた取り組み

コロナ禍をもたらす不透明感を乗り越え、持続的成長を追求していくために、フジテックは戦略的方向性をしっかりと見据えて前向きに取り組を進めていきます。2020年3月期には主な設備投資として、2019年8月にインドで第2工場の建設に着手しました。研究開発におきましては、国内で標準型エレベータ「XIOR(エクシオール)」のフルモデルチェンジを完了し、本年4月1日より、販売を開始し高い評価を受けています。

2021年3月期の設備投資は、国内30億円、海外25億円を計画しています。国内は主にビッグウイング製作所の生産効率向上を目指した生産自動化投資、海外は、インド、台湾での生産拡大を目的とした工場設備の増強です。研究開発費は25億円を計画しています。今後の持続的成長を支える収益性の抜本的改

善とともに、企業価値向上を担う成長領域への投資を行います。

コーポレート・ガバナンス強化の一環として、社外取締役を過半数としました。社外から客観的な立場で企業統治を強化するとともに、経営の一層の透明性を確保する体制が整いました。資本政策については、企業価値の中長期的な向上を目指し、事業の健全な運営と、必要な成長投資をタイムリーに行える強固な財務基盤の維持が大切であると考えております。同時に配当性向50%以上を目途とする安定継続的な株主還元を実施します。2020年度は減収減益の計画ではありますが、年間50円の配当を継続し、配当性向は54%を見込んでいます。今後も事業成長に向けた成長投資と、安定継続的な株主還元を重視し、ROEの向上を目指します。

## 社会の一員として果たすべき役割

フジテックは、社会の一員として、社会の持続可能性に配慮した経営を目指し、地球環境への配慮、地域社会への還元など、事業を通じた社会への貢献を果たしていく所存です。

特にSDGsに関連して、モダニゼーション工事での産業廃棄物の削減や省エネ機器の導入などで、環境負荷の低減に取り組んでいます。また世界中に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症に関しては、昇降機の非接触技術や接触機会の可視化のソリューションを通じ

て、新しい時代にふさわしい、美しい都市機能に必要な空間移動を提供いたします。

これらの活動を通じて、フジテックは、長期的な視点に基づき、新しい生活様式に合致した最適な空間移動システムを追求し、環境・社会課題の解決に取り組めます。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、引き続きのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。